



IMURAYA GROUP 2022

会社案内

つながりと革新で、 「おいしい!の笑顔をつくる」 HUB型経営

各事業会社がサークル状に位置し、相互に連結、協働しながらグループ力を最大化し、企業価値を高めていく「HUB(ハブ)型」を特色としています。国内5社、海外6社のグループ各社が協働してシナジー効果を発揮し、お客さまの「おいしい!の笑顔をつくる」を実現しています。

菓子、食品、デイリーチルド、冷菓、
冷凍和菓子、点心・デリヤ
フードサービス事業を行う

「ゆであずき」「肉まん・あんまん」「あずきバー」などロングセラー商品に代表される独創性と多様性のある商品を提供しています。社会ニーズを捉え、長年培ってきた伝統に新たな技術の応用を加えて、新しい食シーンの創造に努めています。



井村屋
株式会社

IMURAYA
USA, INC.

グローバルを目指し、
井村屋の味を世界へ

日本のもち(MOCHI)とココナッツクリームなど和と洋を融合させた商品の製造・販売やグループ会社で製造した日本製品の輸入総代理店事業、グループ会社への情報発信をしています。井村屋グループの原点であるAZUKIを中心とした新たな食文化の提案・開拓を続けています。



井村屋(北京)
企業管理
有限公司
(ICM)

グループ各社の「自立と協働」により、シナジー効果を最大化するため、サービス、サポート、サジェスションの3Sを提供しています。変わり続ける外部環境に応え、新たな価値をお客さまに提案してまいります。



井村屋
(北京)食品
有限公司
(IBF)

中国事業の一元化を目指して

中国事業会社(JIF、IDF、IBF)の経営の合理化と資金の有効活用を図り、安定した事業構築を目指す戦略部門です。サービス、サポート、サジェスションを提供し、中国事業の成長を支援します。



カステラをはじめとした
「日本の菓子」を中国市場へ

カステラ、日式的肉まん・あんまんなどの開発、販売をしています。ネット販売やSNSを活用した販売戦略、CVS向けの商品開発などマーケティング機能を強化し、中国国内の販売チャネルの拡大はもちろん、その他の国々への販路拡大に向けて取り組んでいます。



調味料と包装生産技術を活かし、
自社素材商品およびOEMやODMに取り組む

食品の味づくりの原料となる液体調味料や粉末調味料、レトルト製品、スパウチ製品などを主な生産品目としています。協働とソリューションをコンセプトに、食品業界を中心としたお客さまの課題解決に技術で貢献しています。



井村屋グループの
福利厚生やショップ運営
などの幅広い業務を遂行

井村屋グループ(株)の不動産・賃貸住宅の管理事業、リース代理業・社内託児所の運営、社内売店や商業施設でのショップやアウトレットなどを運営。福利厚生を通じて井村屋グループの生産性向上に貢献しています。



井村屋フーズ
株式会社

イムラ
株式会社

井村屋
スタートアップ
プランニング
株式会社

将来の柱となる新事業を
企画し、事業化を支援

オープンイノベーションの考え方のもと、将来の柱となり得る事業となるシーズを探り、事業化を支援し、インキュベート(育成)する戦略企画部門です。井村屋グループの持つ強みを活かし、和と健康性をテーマに新事業を企画し、総合的な支援をします。

井村屋グループ全体の
経営戦略立案、
全体最適化を担う

井村屋グループ
株式会社

IMURAYA
MALAYSIA
SDN.BHD.

「和風×ハラール」商品を
マレーシア、
さらにASEAN諸国へ

現地OEM/パートナーと戦略提携を結び、日本で培った技術や商品開発力を活かしてマレーシア市場に合わせた商品製造・販売をしています。「日本らしい」楽しい商品・サービスをASEAN諸国にお届けしていきます。



井村屋
(大連)食品
有限公司
(IDF)

北京京日
井村屋食品
有限公司
(JIF)

調味料・焼菓子の生産工場として
JIF・IBFとの協働、世界市場への輸出を

JIFとIBFの生産機能を担当し、粉末調味料やカステラを生産しています。新製品開発の提案にも注力し、日本・韓国・東南アジア諸国など、その市場をさらに広げるべく邁進しています。



調味料の開発・販売で
中国市場の食ニーズに応える

野菜、海鮮などを主原料とした粉末調味料を中国国内外の即席麺・調味料・外食関連などの加工食品メーカーに提供しています。2014年からはマーケティング・管理機能に特化し、現地市場を見据えた商品開発を進めています。



「おいしい!の笑顔」を広げるため さまざまな分野へ挑戦!!

井村屋グループは、常に新しい商品を提供し続ける一方で普遍性は失わない「不易流行」や、他社の真似をすることなくオリジナリティを追求する「特色経営」の考え方、グループ理念である「おいしい!の笑顔をつくる」のミッションのもと、和と自然の味を活かし菓子、食品、冷菓、点心・デリ、デリーチルド、スイーツ、NVCC事業、調味料などさまざまなカテゴリーで商品を展開しています。

● 菓子事業

創業以来、井村屋グループの核として発展を支えてきた菓子事業。ようかん・進物・カステラ・どら焼など幅広い商品を展開しています。

● 食品事業

ゆであずきやぜんざい、氷みつなどの和風スイーツのほか、レンジ調理タイプの冷凍の「肉まん・あんまん」、OEM受託商品としてスパウチなどを展開しています。

● 冷菓事業

「あずきバー」や「やわもちアイス」をはじめ、井村屋の強みを活かした特色ある和風アイスやオリジナルアイスを製造・販売しています。

● 点心・デリ事業

店頭のスチーマー（蒸し器）で、いつでも温かいおいしさを味わえる「肉まん・あんまん」などを製造・販売しています。

● デリーチルド事業

長期保存や有機・小容量など食生活スタイルの変化をいち早く捉え、豆腐やチルドの「肉まん・あんまん」などを展開しています。

● スイーツ事業

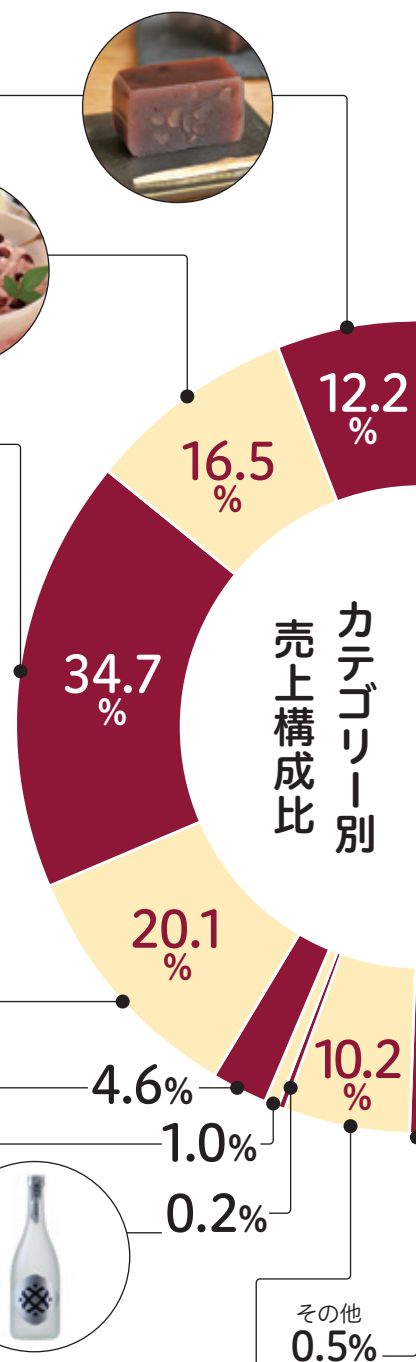
「アンナミラース」ブランド商品のEC販売や南仏プロヴァンスのパティスリー「ラ・メゾン・ジュヴォー」、高級アイスクリーム店「和涼菓堂」の運営などを行っています。

● NVCC事業 (New Value Creation Company: 新価値創造)

三重県の水と酒米、酵母を使用し、テロワールに根差した日本酒の製造・販売を行う「福和蔵(ふくわくら)」と、和菓子を販売する「菓子舗井村屋」の2店舗を運営しています。

● 調味料事業

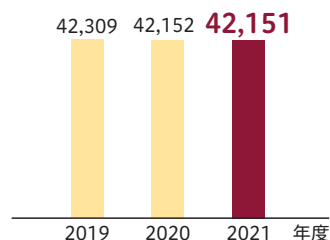
野菜や魚介、畜肉のエキスを粉末化、液体化、顆粒化し、業務用調味料として国内外の食品メーカーなどに販売しています。



財務ハイライト

▶ 売上高

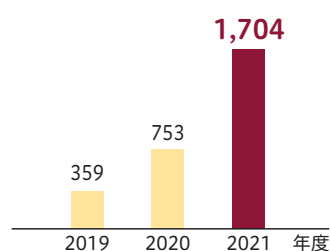
単位:百万円



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用

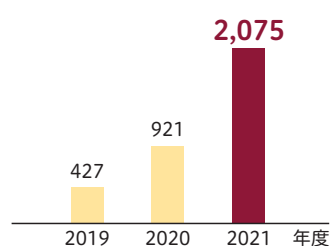
▶ 営業利益

単位:百万円



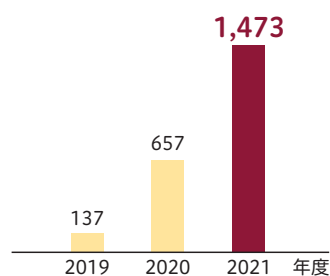
▶ 経常利益

単位:百万円



▶ 親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



非財務ハイライト

▶ グループ従業員数

964名

※非正規社員除く



平均年齢 36.8歳

平均勤続年数 13.7年

※2022年3月末時点

▶ 女性従業員比率

33.1%



女性管理職比率

11.1%

▶ 平均残業時間

15.6時間/月

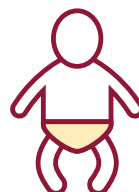


有給休暇取得率

66.9%

▶ 育児休業取得者数

女性 13名

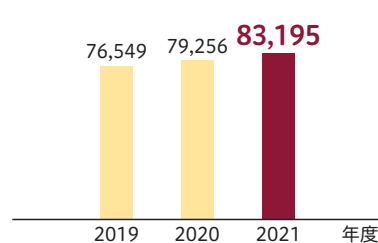


復職率 100.0%

男性 3名

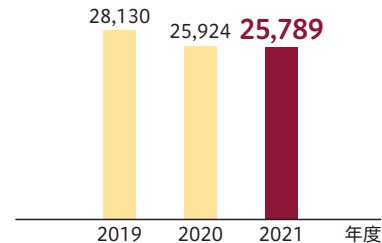
▶ 生産重量

単位:t



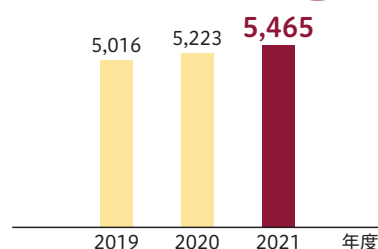
▶ 大気への排出CO₂

単位:t-CO₂



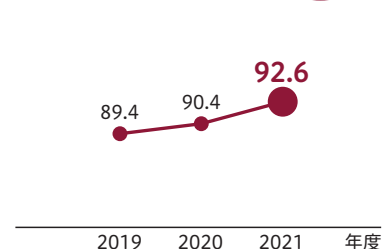
▶ 輸送燃料

単位:t-CO₂



▶ リサイクル率

単位:%





変わらない幸せのために、変わり続けてその先の未来へ。

井村屋「特色経営」のあゆみ

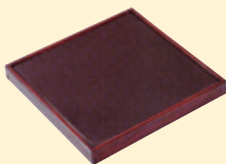
1896年(明治29年)11月15日に「井村和蔵」が三重県飯南郡松阪町(現在の松阪市)にて菓子の製造をはじめ、和菓子屋として創業しました。常に新しい商品を提供し続け、普遍性は失わない「不易流行」は、創業以来の姿勢です。

家業の時代としてスタート

- 1896**
- 商品のおいしさと約束は必ず守る誠実さを鉄則に井村和蔵が菓子舗井村屋を創業
 - ゼロからの挑戦「知恵と手間を注ぎ込んだ」山田膳流しようかん



▲ 創業者 井村 和蔵



▲ 山田膳流しようかん
井村屋第一号商品。煮詰めたようかんを流し固める型がなかったため当時はお膳として使われていた山田膳でようかんを固めて販売した。

- 1963**
- 最初は苦戦するも、井村屋独自の商品を展開
 - アイスクリーム事業に参入



▲ アイスクリーム事業立ち上げ初期の商品
氷金時・おにぎりモナカ・バイバイバー

- 1964**
- 日本独自のスタイルがヒット
 - 肉まん・あんまん発売
 - 店頭で肉まんが楽しめるスチーマーをメーカーと共同開発し、新たな食習慣を創造
 - 水ようかん発売



▲ 肉まん・あんまん

▲ 水ようかん

- 1967**
- 氷みつ発売



◀ 氷みつ

- 1947**
- 「商品こそわが生命、人こそわが宝」井村二郎が株式会社井村屋を設立
 - 「人のやらないことをやる」を基本に次々とヒット商品を生み出していく



▲ 井村 二郎
井村和蔵の後を継ぎ、家業を企業へ発展させた。



▲ 井村二郎と仲間たち
前列右から4人目が二郎

- 1950** ●労働組合結成
1953 ●井村屋製菓株式会社に社名変更
1960 ●即席ぜんざい発売



◀ 即席ぜんざい

- 1961** ●名古屋証券取引所市場第二部に上場
1962 ●社内報「井津味」創刊
●ゆであずき発売



▼ ゆであずき

- 1972** ●アイスメロン、大豆ッ子発売



▲ アイスメロン



▲ 大豆ッ子

- 1973** ●あずきバー発売
あずきを炊く技術と新しい発想で生まれた
和風アイスの代表格
●イムラ株式会社を設立
●新業態への挑戦
アンナミラズ1号店オープン



▲ あずきバー



▲ アンナミラズ1号店

- 1974** ●チルド肉まん・あんまん発売
1978 ●調味料事業に進出
1979 ●BOXあずきバー、カップしるこ発売
1984 ●カステラ5発売



▲ カステラ5

◀ BOXあずきバー

- 1986** ●5コ入水ようかん発売
1993 ●お気に入りしるこ発売

お気に入りしるこ ▶



- 1998** ●安全・安心な商品提供をお約束する
調味料事業部ISO14001認証取得
その後、グループ各社にISO9001/14001の
取得を広げるきっかけに

- 2000** ●海外進出の先駆け
北京京日井村屋食品有限公司(JIF)を設立

- 2001** ●お赤飯の素、そのままつぶあんトースト発売



▲ お赤飯の素



▲ そのままつぶあんトースト

- 2006** ●井村屋(北京)食品有限公司(IBF)を設立

- 2008** ●えいようかん発売

- 2009** ●日本の和菓子を世界に発信
IMURAYA USA, INC.を設立



▲ えいようかん



▲ IMURAYA USA, INC. 工場竣工

グループ経営の時代へ移行

- 2010** ●多様な経営資源を集結し、
シナジー効果を発揮する持株会社制へ移行

- 2012** ●やわもちアイス発売



▲ 持株会社制



▲ やわもちアイス

- 2013** ●あずきの食文化継承活動などブランドを育み
あずきバー商標登録

- 井村屋(大連)食品有限公司(IDF)を設立

- 2017** ●日本フード株式会社と井村屋シーズニング株式
会社の合併による相乗効果でBtoBビジネスを
進化させる井村屋フーズ株式会社を設立
●創業120年、会社設立70周年を経て、
次のステージへ

東京/名古屋証券取引所市場第一部上場

- 2018** ●AZUKI・FACTORY竣工



▲ 東京/名古屋証券取引所市場
第一部上場



▲ AZUKI・FACTORY

- 2019** ●井村屋スタートアッププランニング株式会社を設立
●ASEAN市場のゲートウェイ、マレーシアへの進出
IMURAYA MALAYSIA SDN. BHD. を設立
●酒事業参入

- 2020** ●井村屋フーズスパウチ新工場竣工

- 2022** ●プライム市場 プレミア市場移行



持株会社の概要

(2022年4月1日現在)

井村屋グループ株式会社

本 社 所 在 地 〒514-8530

三重県津市高茶屋七丁目1番1号

T E L (059)234-2131

創 業 明治29年(1896年)

設 立 昭和22年(1947年)4月

資 本 金 25億7,653万円



井村屋グループ本社

事業会社の概要

(2022年4月1日現在)

井村屋株式会社

本 社 所 在 地 〒514-8530

三重県津市高茶屋七丁目1番1号

T E L (059)234-2132

代表取締役社長 岩本 康

設 立 平成22年(2010年)10月

資 本 金 3億1,000万円

井村屋フーズ株式会社

本社・中原サイト 〒441-3106

愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1

T E L (0532)41-1191

七 根 サ イ ト 〒441-3202

愛知県豊橋市西七根町字奥足田口88番地

T E L (0532)21-2311

代表取締役社長 菅沼 重元

設 立 昭和44年(1969年)1月

資 本 金 5,000万円

イムラ株式会社

本 社 所 在 地 〒514-0819

三重県津市高茶屋五丁目6番1号

T E L (059)234-2080

代表取締役社長 中島 伸子

井村屋スタートアッププランニング株式会社

本 社 所 在 地 〒514-8530

三重県津市高茶屋七丁目1番1号

T E L (059)234-2135

代表取締役社長 大西 安樹

北京京日井村屋食品有限公司(JIF)

本 社 所 在 地 中国北京市豊台区榴郷路88号

石榴中心11号楼101

T E L +86-10-8379-4893

董 事 長 近藤 久嗣

総 経 理 大西 由晃

井村屋(大連)食品有限公司(IDF)

本 社 所 在 地 中国遼寧省大連市旅順口区長城街道
大房身村

T E L +86-411-8627-8020

董 事 長 近藤 久嗣

総 経 理 上田 長平

井村屋(北京)食品有限公司(IBF)

本 社 所 在 地 中国北京市豊台区榴郷路88号

石榴中心11号楼101

T E L +86-10-8379-4401

董事長兼總經理 近藤 久嗣

井村屋(北京)企業管理有限公司(ICM)

本 社 所 在 地 中国北京市豊台区榴郷路88号

石榴中心11号楼101

董事長兼總經理 近藤 久嗣

IMURAYA USA, INC.

本 社 所 在 地 2502 Barranca Parkway, Irvine,
CA 92606, USA

T E L +1-949-251-9205

C E O 浅田 剛夫

C O O 甲斐下方俊

IMURAYA MALAYSIA SDN.BHD.

本 社 所 在 地 Unit32-01, Level32, The Vertical
Corporate Office Tower B, Avenue 10,
Bangsar South, No.8 Jalan Kerinchi
59200 Kuala Lumpur Malaysia

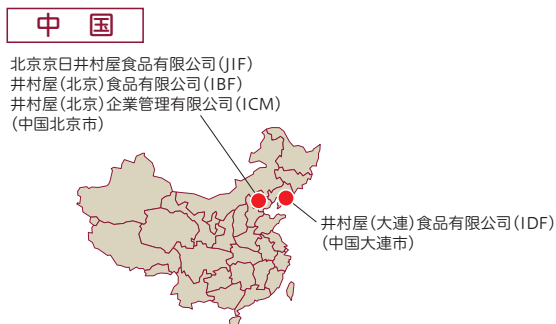
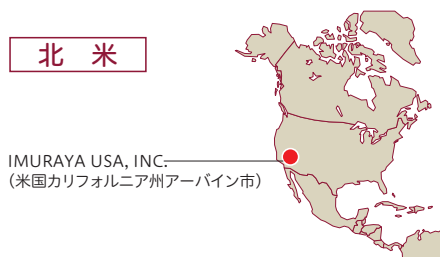
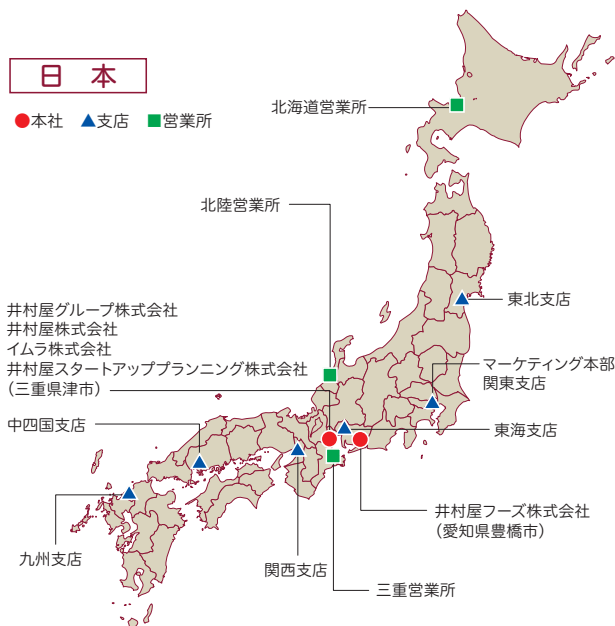
T E L +603-2786-3794

代表取締役会長 大西 安樹

取締役社長 小川 篤

井村屋グループの活動拠点

(2022年4月1日現在)



井村屋グループ役員

(2022年6月末日現在)



代表取締役会長 (CEO・CMO) 浅田 剛夫



代表取締役社長 (COO) 中島 伸子

取締役副社長 菅沼 重元

取締役副社長 岩本 康

専務取締役 (CFO) 富永 治郎

取締役 岩上 真人

取締役 前山 健

取締役 大西 安樹

社外取締役 西岡 慶子

社外取締役 田中 里沙

社外取締役 福谷 朋子

執行役員専務 甲斐下 方俊

執行役員常務 行方 貞彦

執行役員常務 井村 慎

執行役員常務 近藤 久嗣

執行役員常務 益川 博

執行役員 岡田 孝平

執行役員 尾崎 弘二

執行役員 山路 明

常勤監査役 脇田 元夫

常勤監査役 森井 英行

社外監査役 若林 正清

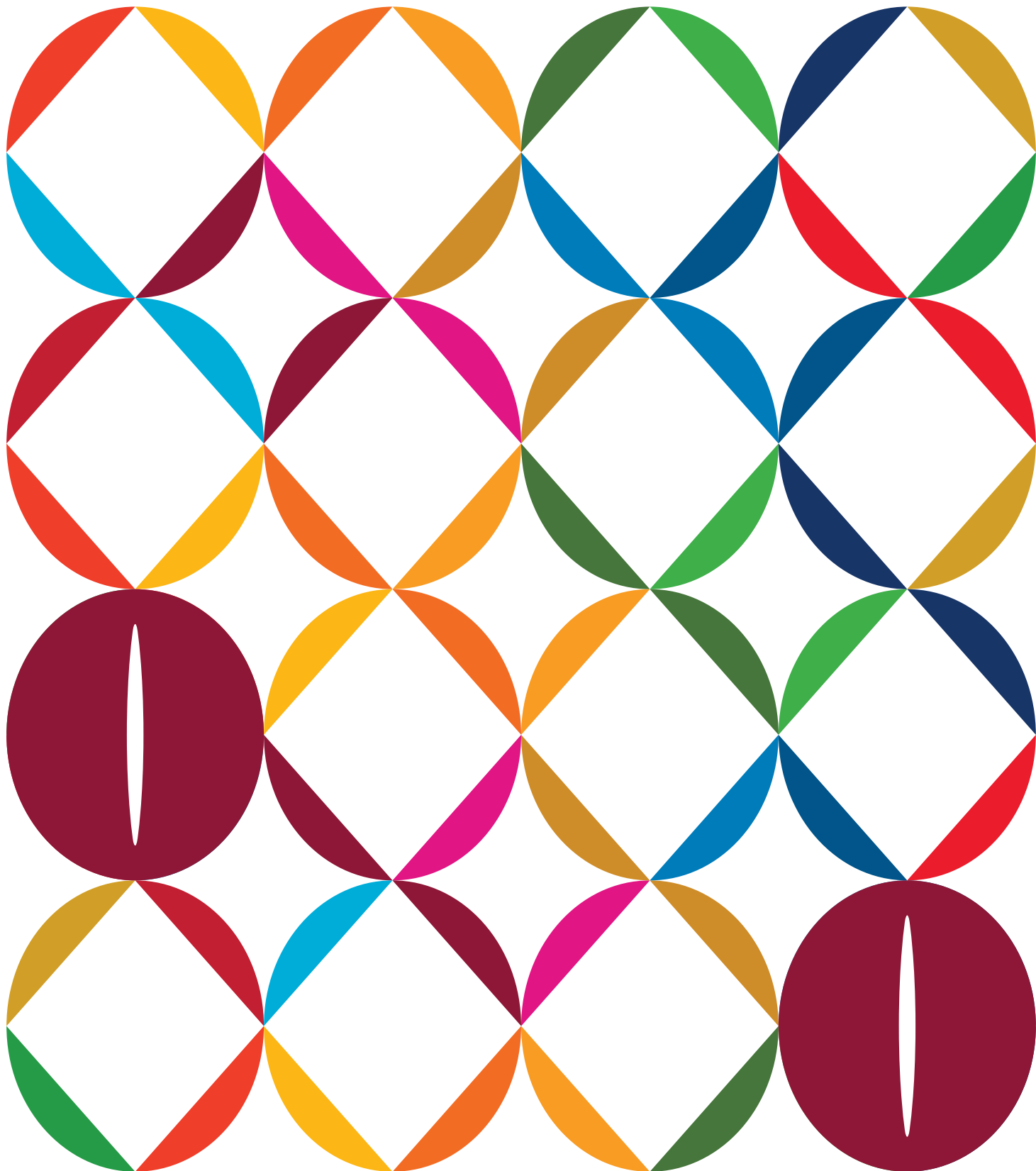
社外監査役 土田 繁

ご意見、ご感想は井村屋グループ(株)の
ホームページのお問い合わせフォームに
ご記入の上、送信してください。

<https://www.imuraya-group.com/contact/>

メールでの受け付けは24時間行っておりますが、営業時間外、および
土日・祝日・GW・夏季休暇・年末年始の間にいただいたお問い合わせは翌営業日以降の対応となりますのでご了承ください。

営業時間:月曜日～金曜日 AM9:00～PM5:00
(土日・祝日・GW・夏季休暇・年末年始を除く)



〈 お問い合わせ先 〉

井村屋グループ株式会社 経営戦略室

〒514-8530 三重県津市高茶屋七丁目1番1号

TEL.050-1791-2014 FAX.059-234-2130

ホームページアドレス <https://www.imuraya-group.com/>

2022年11月発行

UD
FONT

見やすく読み間違いにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。